

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備) 事後評価

平成27年 4月 日

計画の名称	1 石狩湾新港における港湾利用の効率性・安全性の向上																																					
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)					交付対象	石狩湾新港管理組合																															
計画の目標																																						
既存施設の機能回復、係留施設及び臨港道路の整備・改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。																																						
計画の成果目標(定量的指標)																																						
・老朽化により倒壊の危険があるなど、安全性が低下している係留施設200mの安全性の向上を図る。 ・埋没により船舶の安全な航行に支障を来し、機能回復・安全性の向上に必要な泊地0.9haの機能を回復する。 ・老朽化及び交通量の増加により安全性が低下している臨港道路5.9kmの安全性・効率性の向上を図る。 ・港湾施設を適切に維持するため、3施設の維持管理計画を策定する。																																						
定量的指標の定義及び算定式																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・老朽化により倒壊の危険があるなど、安全性が低下し改良が必要な係留施設の延長。 安全性の向上に必要な延長200m</td> <td>200m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・埋没により船舶の安全な航行に支障を来し、機能回復・安全性の向上に必要な泊地の面積。 埋没により支障を来している面積1.5haのうち、5か年以内に安全性の向上が図られる面積0.9ha。</td> <td>1.5ha</td> <td>1.0ha</td> <td>0.6ha</td> </tr> <tr> <td>・老朽化及び交通量の増加により安全性が低下し改良が必要な道路の延長。 安全性向上・機能回復が必要な道路延長5.9km</td> <td>5.9km</td> <td>4.9km</td> <td>0km</td> </tr> <tr> <td>・適切に維持を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 維持管理計画の策定が必要な港湾施設数3施設。</td> <td>3施設</td> <td>0施設</td> <td>0施設</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	・老朽化により倒壊の危険があるなど、安全性が低下し改良が必要な係留施設の延長。 安全性の向上に必要な延長200m	200m	0m	0m		・埋没により船舶の安全な航行に支障を来し、機能回復・安全性の向上に必要な泊地の面積。 埋没により支障を来している面積1.5haのうち、5か年以内に安全性の向上が図られる面積0.9ha。	1.5ha	1.0ha	0.6ha	・老朽化及び交通量の増加により安全性が低下し改良が必要な道路の延長。 安全性向上・機能回復が必要な道路延長5.9km	5.9km	4.9km	0km	・適切に維持を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 維持管理計画の策定が必要な港湾施設数3施設。	3施設	0施設	0施設
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																		
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																			
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																																			
・老朽化により倒壊の危険があるなど、安全性が低下し改良が必要な係留施設の延長。 安全性の向上に必要な延長200m	200m	0m	0m																																			
・埋没により船舶の安全な航行に支障を来し、機能回復・安全性の向上に必要な泊地の面積。 埋没により支障を来している面積1.5haのうち、5か年以内に安全性の向上が図られる面積0.9ha。	1.5ha	1.0ha	0.6ha																																			
・老朽化及び交通量の増加により安全性が低下し改良が必要な道路の延長。 安全性向上・機能回復が必要な道路延長5.9km	5.9km	4.9km	0km																																			
・適切に維持を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 維持管理計画の策定が必要な港湾施設数3施設。	3施設	0施設	0施設																																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	940百万円	A	932百万円	B	— 百万円	C	8百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.9%																												
事後評価																																						
○事後評価の実施体制、実施時期																																						
事後評価の実施体制																																						
事後評価の実施時期																																						
事業終了後、平成27年4月																																						
公表の方法																																						
石狩湾新港管理組合ホームページ																																						
1. 交付対象事業の進捗状況																																						
交付対象事業																																						
A1 港湾事業																																						
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)	全体事業費 (百万円)	備考																									
1-A1-1	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	物揚場(-2m)の改良	水深 D=2m、延長 L=200m	石狩湾新港・東地区	H22	H23	H24	H25	H26	170	継続																					
1-A1-2	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	泊地(-10m)(埋没浚渫)	A=9,000m ² 、V=9,000m ³	石狩湾新港・東地区						102	統合																					
1-A1-3	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	建設	道路	幅員 W=6.5m、延長 L=715m	石狩湾新港・東地区						200	新規																					
1-A1-4	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	道路の改良(拡幅等)	幅員 W=6.5m、延長 L=930m	石狩湾新港・東地区						290	継続																					
1-A1-5	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	道路の改良(舗装構成変更)	幅員 W=6.5m×2、延長 L=1,770m	石狩湾新港・東地区						93	新規																					
1-A1-6	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	道路の改良(オーバーレイ)	幅員 W=6.5m×2、延長 L=1,510m	石狩湾新港・花畔地区						57	統合																					
1-A1-7	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	改良	道路の改良(オーバーレイ)	幅員 W=6.0m、延長 L=950m	石狩湾新港・中央水路地区						16	統合																					
1-A1-8	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	重要	—	維持管理計画策定	防波堤2施設、橋梁1施設	石狩湾新港・東地区						4																						
											合計					932																						
B 関連社会資本整備事業																																						
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)	全体事業費 (百万円)	備考																										
										H22	H23	H24	H25	H26																								
											合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																										

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	—	航行安全施設	航路標識設置	航路標識設置 1箇所						8		
											合計			8		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C1-1	1-A1-2の泊地(～10m)の埋没浚渫整備に合わせ、利用者から要望の強い航路境界標識設置により、港内航行の安全性向上が図られる。															
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・老朽化により倒壊の危険がある係留施設の改良により、安全性の向上が図られた。										
						・埋没により船舶の安全な航行に支障を来している泊地の浚渫により、機能回復・安全性の向上が図られた。										
						・老朽化等により安全性が低下している道路の改良により、安全性の向上が図られた。										
						・維持管理計画の策定により、適正に維持管理を行うことが可能となった。										
Ⅱ 定量的指標の達成状況						安全性の向上が 必要な係留施設 延長	最終目標値	0 m	目標値と実績値に差が出 た要因	—						
							最終実績値	0 m								
						埋没により支障 を来している泊 地面積	最終目標値	0.6 ha	目標値と実績値に差が出 た要因	厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については平成27年度以降の交付金計画により実施する。						
							最終実績値	0.9 ha								
						安全性向上・機 能回復が必要な 道路延長	最終目標値	0 km	目標値と実績値に差が出 た要因	厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については上位計画との整合性や整備計画を確認し、平成27年度以降の交付金計画により実施する。						
							最終実績値	3.7 km								
						維持管理計画の 策定が必要な港 湾施設数3施設。	最終目標値	0 施設	目標値と実績値に差が出 た要因	—						
							最終実績値	0 施設								
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況						—										
3. 特記事項（今後の方針等）																
—																

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

